

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第1章 事業別の医療体制の整備・充実

第4節 周産期医療

とりまとめ担当課：健康医療局保健医療部医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 周産期医療の充実	
<ul style="list-style-type: none"> → 分娩を取り扱う26診療所を本計画に記載し、届出による病床設置を実現 → NICU病床の後方支援施設(1施設)の運営費等への補助 → レスパイト入院を行う4病院への補助 → 特設ウェブサイト「丘の上のお医者さん」の作成及び運営(3年間延べ349,395件アクセス) 	
(2) 周産期救急医療体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> → 周産期救急医療システム受入病院(23施設)の運営費への補助 → NICU病床の増設(15床)への補助 → 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」の策定 	

2 目標値の推移

取組区分	名称	単位	策定時	実績値 (H29)	目標値 (H29年度)	達成率 (%)	備考
(2)	産科医・産婦人科医の数	人	699 (H22)	772 (H28)	750	◎ (143.1%)	実績値：平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査
(2)	NICUの病床数	床	195 (H24)	213 (H29)	222	● (66.6%)	出典：周産期医療体制に係る調査及び周産期母子医療センターの評価

3 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県内					備考
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
(1)	県	県内の分娩取扱施設数	施設	150	151	147	148	146	出典：産科医療及び分娩に関する調査
(1)	その他	周産期母子医療センターにおけるNICU長期入院児数	人	4	10	10	12	-	出典：周産期医療体制に係る調査及び周産期母子医療センターの評価

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 周産期医療の充実

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩施設の増に向けた取組みや後方支援を行う機関への補助などを行った。 ・しかし、参考指標に掲げる県内の分娩取扱施設数については、出生数が減少しているという社会的背景のためか、減少している。 ・また、参考指標に掲げる周産期母子医療センターにおける NICU 長期入院児については、妊婦の高齢化が進んだためか、増加している。
評価理由	周産期医療の充実に向けて、各種事業を実施しているが、分娩取扱施設が減少し、NICU 長期入院児が増加している。
第7次計画(H30～H35)での取組の方向性	<p>P54、P55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩取扱施設数を維持しつつ、1施設あたりの分娩取扱数の増加させるための方策について検討を進める。 <p>P54、P55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NICU の円滑な運用に向け、長期入院時の増加を抑制するため、新生児病床を退院し在宅へ移行した児の在宅移行後の受け入れ態勢を整備し、保護者の負担軽減を図る。 ・なお、長期入院児に関する目標値については、NICU 及び GCU の長期入院児について、全国値以下を目指すこととする目標を設定している。

(2) 周産期救急医療体制の充実

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期救急医療システムの円滑な運用に向け、各種事業を実施した ・数値目標に掲げる産科医・産婦人科医の数については、達成している。 ・NICU 病床数については、目標そのものの達成はやや遅れているが、目標の趣旨は充足している。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・産科医・産婦人科医の数が目標を達成している。 ・NICU 病床数については、目標達成がやや遅れているが、出生数全体の減少も相まって、出生1万人当たりのNICU設置数は、国の指針で目標とされている出生1万人あたり25床から30床という数字を余裕をもって達成している(30.1床(H28年度))ことから、目標の趣旨は充足していると評価できる。
第7次計画(H30～H35)での取組の方向性	<p>P54、P55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産科医・産婦人科医にとらわれず、産科医師、新生児担当医師及び麻酔科医師の確保に向け、その充足状況を把握した上で、必要な方策について、分娩施設の拠点化と地域連携の強化を含めた検討等を進める。 <p>P53、P55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NICU 等の周産期施設等の整備等について検討を行い、今後の方向性を検討する。 ・なお、NICU に関する目標値については、出生1万人当たりのNICU設置数を現状

	<p>と同程度に維持することとする目標を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、新たに、出生 10 万件あたりの妊産婦死亡率を全国値以下とする目標を設定している。
--	---

5 総合評価

評価	評価理由
B	<p>周産期医療が充実されるための取組みについては、NICU病床数対応にやや進捗の遅れがあるものの、周産期救急医療体制の充実に向けた取組みについては一定の進捗があることから、全体として比較的順調に進捗していると評価できる。</p>